

ポイント この分析表により利益をあげるための必要売上高が計算できます。

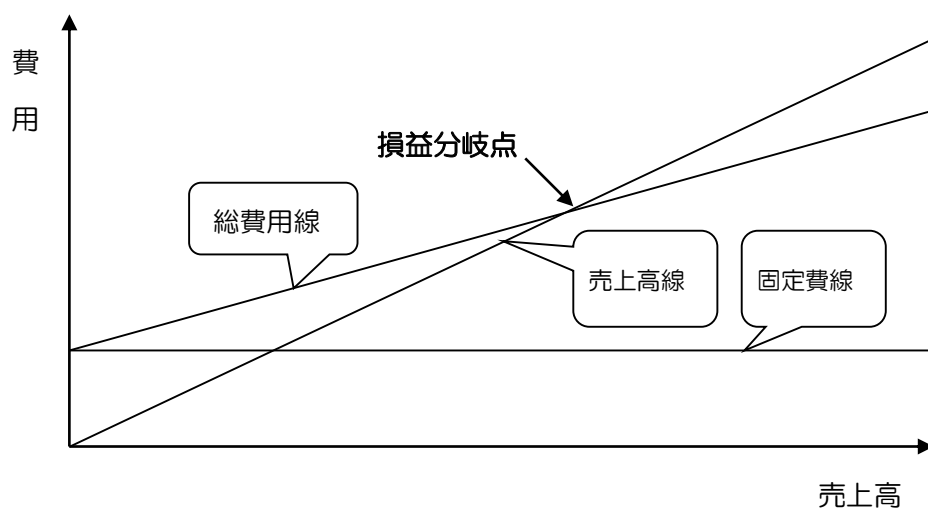
A3 売上に対する総ての費用を売上に比例して増加する費用（変動費）と売上に関係なく一定額発生する費用（固定費）に分けます。変動費と固定費に分けることにより、次のような算式が成立します。

$$\text{目標売上高} - \text{目標売上高} \times \text{変動費率} - \text{固定費} = \text{利益}$$

$$(\text{変動費率} = \text{変動費} / \text{売上高})$$

これにより利益が0と示す損益分岐点の売上高やあるいは目標売上に対する利益額の算定ができるようになります。

（変動費には仕入や材料費あるいは運賃や販売手数料などが売上に連動し、固定費には給料、地代家賃、保険料、交通費、租税公課や減価償却費等が該当します）



$$\text{損益分岐点} = \frac{\text{固定費}}{1 - \frac{\text{変動費}}{\text{売上高}}}$$